

補正予算特別委員会産業建設分科会会議記録（補正予算審査）

1. 開催日	平成30年2月19日（月）
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	小島政行座長、國里修久副座長、前田えり子委員、足立義則委員、大上和則委員、園田依子委員
4. 会議に付した事件	<p>議案第21号 平成29年度篠山市一般会計補正予算（第12号）</p> <p>議案第23号 平成29年度篠山市下水道事業特別会計補正予算（第4号）</p> <p>議案第24号 平成29年度篠山市農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）</p> <p>議案第28号 平成29年度篠山市農業共済事業会計補正予算（第4号）</p> <p>議案第29号平成29年度篠山市水道事業会計補正予算（第4号）</p>

5. 議事の経過
<p>開会 9：30</p> <p>小島座長 開議宣告</p> <p>■日程第1 議案第21号 平成29年度篠山市一般会計補正予算（第12号）</p> <p>【主な説明】</p> <p>農都創造部より補正予算書に基づき説明（商工観光課）</p> <p>【主な質疑】</p> <p>足立委員 景観まちづくり刷新モデル事業に関し、大正ロマン館のトイレ改修図面について説明されたい。</p> <p>農都創造部 1枚目の図面はトイレ改修場所の位置図で、2枚目の図面は左が現況、右が改修計画である。トイレ便器を男女1基ずつ残すほか、授乳室と倉庫を設け、空きスペースは職員の休憩室と授乳者の予備スペースとして活用する予定である。</p> <p>足立委員 男女とも1基ずつの便器で足りるのか。</p> <p>農都創造部 大正ロマン館には東側に別のトイレがあるので、今回の場所については従業員専用と考えている。</p> <p>足立委員 大正ロマン館へ食事に行った際、団体客が来られたらトイレを待つ場合がある。トイレを誘導するサインが必要である。</p> <p>前田委員 授乳室に仕切りがないが、おむつ交換室の想定か。</p> <p>農都創造部 若手の職員や子育て中の職員に意見を聞き、「授乳室についてはトイレの</p>

近くがよい」との意見を参考に、また、アクト篠山との協議により、計画の場所に授乳室を設置することとした。仕切りについては、カーテンを予定している。

前田委員 授乳室の中央はソファを置くのか。カーテンではなく、ちゃんとした仕切りが必要ではないか。

農都創造部 中央は授乳用のソファを考えている。意見を取り入れる形で進めたいと考える。

大上委員 便器の数が減るが、混雑時は大丈夫か。

農都創造部 別の場所にトイレがあり、授乳室も必要なので、現行の計画で進めていきたいと考える。

前田委員 授乳室横のトイレは男女の区別はあるのか。

農都創造部 南側が男性用である。

前田委員 男女の間の仕切りはないのか。

農都創造部 図面には記入できていないが、暖簾のようなもので仕切る予定である。

園田委員 授乳室を設けるなら、女性専用トイレとしてはどうか。

農都創造部 指定管理者から倉庫と職員の休憩スペースが欲しいとの要望があり、併せて、市としても授乳室を設置することで協議してきた。その中で、今回トイレを改修し、職員用トイレがなかったことから、職員用トイレとして利用する。理解願いたい。

足立委員 授乳室を設けるなら、従業員専用トイレにして、バックヤードから客が入らなようにしてはどうか。

農都創造部 授乳室を利用する人だけに案内できるようにできないか、設計担当の管財契約課と協議し、報告する。

前田委員 倉庫部分を授乳室にしてはどうか。

赤農都創造部 子育て中の若い職員の意見を参考に設計したものである。

足立委員 子育て支援であるなら、ついでに作ったようなものではなく、授乳室にふさわしいものを作らないといけない。トイレは庭からも入れるのか。

農都創造部 現状では、庭から入ることは想定していない。

前田委員 計画の授乳室では、おむつ交換室である。カーテンでの仕切りは如何なものか。

農都創造部 各委員の意見を踏まえたレイアウトを検討する。

小島座長 事業は3月末までか。

農都創造部 今年度の事業でないと、最初から国土交通省と協議をしないといけないので、有利な事業執行ができるよう3月補正に計上した。

前田委員 商工振興費に関し、起業支援補助金が平成28年度が12件、29年度が8

件と、減った原因は何か。

農都創造部 28年度は12件であるが、27年度は8件であった。年度によって増減する。

大上委員 起業支援の業種は何か。

農都創造部 飲食業が2件、バイク店が1件、美容室1件、障害者福祉作業所が1件などで、飲食業が比較的多い。

小島座長 観光宣伝事業に関し、職員が直営でウェブサイトの保守点検をしているとの説明であったが、どの範囲まで行っているのか。中身の更新などもしているのか。

農都創造部 データのバックアップ、トップページやバナーの編集等である。担当課では、イベントの告知などを行っている。

足立委員 大正ロマン館の改修については、トイレを減らす理由が理解できない。ABCマラソンが間近だが、現状でさえトイレが少ないと言われている。特に女子トイレは男子の1.5倍必要とも言われる。混雑時は大丈夫か。

小島座長 本日13時に大正ロマン館前に集合し、現地踏査を行う。

【主な説明】

農都創造部より補正予算書に基づき説明(農都環境課)

【主な質疑】

小島座長 追加資料として提出のあったため池等整備事業の県事業費一覧表について、今後は位置図と写真も添付されたい。

國里副座長 ふるさとの森づくり事業について、取り止めた理由や今後の見通し、考え方は。

農都創造部 里山再生林事業の取り止め理由については、県事業主体の野生動物共生林事業への乗り換えや、申請予定自治会で主導的な役員の体調不良等にて事業を取り止めたと聞いている。今後の見通しでは、市単独事業の里山彩園事業において今年度予算分全て申請されており、追加で問い合わせもあることから、山へ目が向けられているのではないかと感じている。

小島座長 新エネルギー・省エネルギー事業費に関し、木質ペレットボイラー稼働補助金の仕組みと減額となった理由は。

農都創造部 ペレットボイラー稼働補助金は平成28年度から稼働するぬくもりの郷に設置したペレットボイラーに対し、ペレットが重油に比べて高額になるため、その差額を補助するものである。29年度当初予算計上時は重油価格を1リットルあたり55円で計算していたが、最近では重油価格が値上がりし

ており、ペレットとの差額が小さくなるため、36万円を減額している。

園田委員 鳥獣被害対策事業に関し、林辺整備活動支援補助金は対象が東木之部のみのことであったが、後の整備が大変なので取り組む集落がないのではないか。今後も補助は大事だと考えるが、今後の考え方は。

農都創造部 林辺整備補助金の内容は、整備経費を補助するもので5,000円/m×100m=500,000円を上限としている。単価や規模的にあわないものは、県事業主体の野生動物共生林事業にて大規模に実施してもらい、また、現在市で雇用している集落支援員にて獣害対策の仕方や対応方法を集落と一緒に考え、集落が農地は自分で守る形を構築し、ハードとソフトの両面から支援していきたいと考えている。

小島座長 ペレットと重油の価格を確認したい。

農都創造部 ペレットは納入事業者と安定供給に関する協定を締結しており、今年度は1kg 53.35円の価格で納入されている。重油価格は都度変動するが、今年度は1057円から65円で推移している。

小島座長 一般家庭でペレットストーブの普及が進んでいるという認識で良いのか。

農都創造部 今回増額補正を計上している新エネルギー・省エネルギー普及促進補助金は太陽光パネル、蓄電池、エコカー、ペレットストーブを含むバイオマスストーブなどを対象としている。申請機器の多くは太陽光パネルとエコカーで、バイオマスストーブの今年度の申請は5件にとどまっている。そのほとんどが薪ストーブの購入によるもので、ペレットストーブの普及が進んでいるとは言い切れないのが現状である。

前田委員 鳥獣被害防護事業については、当初予算の約半分になっているが、要望のあったほとんどの地域で完了したということなのか。

農都創造部 金網柵については、今年度、北野地区と大山下地区で実施したが、地元において当初計画されていたルートが変更され、設置延長が減少したことによる減額と、電気柵においては、今年度材料支給予定集落分の入札を執行したところ落札率が60%程度で落札されたことにより入札減が発生し減額となっている。また、市獣害対策事業補助金においては、申請件数が当初予定していた数より減少したことの減額である。申請件数が減少した理由は、多面的機能支払交付金にて修繕されたり、中山間直接支払制度にて材料を購入し修繕されたことが原因と考えている。なお、金網柵電気柵の地元要望における設置箇所は、今年度をもって全て完了しました。

前田委員 国から表彰を受けるほどのすばらしい事業なので、今後も管理していける支援をお願いしたい。

足立委員 ペレットの熱量計算の方法は。

農都創造部 ペレットが1 kgあたり17.7MJ発熱し、重油が10あたり38.9MJ発熱すると試算する。ペレットと重油の発熱量を熱量換算したうえで、差額を補助している。

園田委員 サギ等獣害対策事業補助金が20万円の減額となっているが、現在の状況は。

農都創造部 上河原町自治会にて検討されたが、申請には至っていない。なお、市内のサギ被害は現在のところ報告がないので、落ち着いているのではないかと考えている。

【主な説明】

農都創造部より補正予算書に基づき説明(農都政策課)

【主な質疑】

小島座長 農地保全推進事業に関し、条件不利地集積奨励事業補助金の条件不利地とはどのようなものか。また、奨励金の使途要件はあるのか。

農都創造部 いわゆる圃場整備を行っていない農地が対象となり、この農地について農地中間管理機構を通じ、集積をした担い手に奨励金を交付する。また、条件不利農地を受けてもらいやすくするためのものであり、使途要件はない。

大上委員 特産物振興事業の丹波ブランド再生モデル総合対策事業補助金はどのような補助か。新規栽培農家も含まれるのか。

農都創造部 栗栽培に係る機械等の支援で、選定等の園地整備や栽培に必要な農業機械(冷蔵庫、皮むき機、選果機等)整備助成である。また、新規栽培農家も対象となるが、今回事業を活用している農家は過去より栗栽培を継続している農家である。

大上委員 丹波市のマロン振興やスイーツを通じたPR活動について、篠山でも必要と感じるので、取り組んでほしい。

農都創造部 丹波ブランド再生モデル総合対策事業補助金の助成対象となる栗は、「丹波栗」か、「丹波篠山栗」か。

農都創造部 丹波篠山栗はJA丹波ささやまを通じて出荷された栗の商品名である。また、兵庫県では「丹波栗(たんばぐり)」・京都府では「丹波くり(たんばくり)」との名称で呼ばれている。

農都創造部 ブランド化のためにも、名称の統一などが必要と考える。

農都創造部 栗振興会等の栽培農家と十分に調整し、整理する。

國里副座長 担い手支援事業の担い手確保・経営強化支援事業補助金について、3 農家の申請とのことであるが、東部地域からはない。人・農地プランの中心経営体である事の条件が課題で手を上げられないのか。

農都創造部 人・農地プランの位置付けは要件にあるが、東部地域でも中心経営体に位置付けている農業者は多々ある。本事業は、この要件に加えて、農地中間管理機構を活用した農業者となっており、東部でも少ないが、要件を満たしている農業者には案内している。今後、要件を満たすことができるよう、東部地域においても農地中間管理機構の活用を推進していく。

■日程第2 議案第28号 平成29年度篠山市農業共済事業会計補正予算（第4号）

【主な説明】

農都創造部より補正予算書に基づき説明(農都政策課)

【主な質疑】

(なし)

■日程第1 議案第21号 平成29年度篠山市一般会計補正予算（第12号）

【主な説明】

農業委員会より補正予算書に基づき説明(事務局)

【主な質疑】

小島座長 農業委員会事務局費に関し、臨時職員の雇用はいつまでか。

事務局 9月補正において半年間の人件費を計上した。採用予定者が急きょ辞退したため、1月遅れの採用で、5ヵ月間の雇用である。

前田委員 県からの農業委員会交付金が増額となっているが、どのような理由か。

事務局 交付金は農家戸数や農地面積などから積算され、県から配分される。許可件数割は当初は低く見積もっていることから、実績見込みに応じ増額している。

■日程第1 議案第21号 平成29年度篠山市一般会計補正予算（第12号）

【主な説明】

上下水道部より補正予算書に基づき説明(経営企画課)

【主な質疑】

(なし)

■日程第3 議案第23号 平成29年度篠山市下水道事業特別会計補正予算(第4号)

【主な説明】

上下水道部より補正予算書に基づき説明(経営企画課)

【主な質疑】

小島座長 特定環境保全公共下水道事業に関し、電気代が増額になっている理由は何か。

上下水道部 昨今の燃料費の高騰で燃料調整費が値上げされている。

小島座長 公共下水道事業に関し、京口排水ポンプ場の工事の進ちよく状況は。

上下水道部 護岸工事はほぼ完了している。現在は堤防内のポンプを据え付ける躯体の本体工事を行っている。あとは堤防内に排出管となるダクティル铸铁管を埋設する工事が残っているが、3月末までにほぼ土木工事は終了する。機械設備、電気設備は工場で作成中であり、4月以降に現地へ据え付けする。現在の予定では、平成30年度へ繰り越しし、6月末に工事が完了する見込みである。

■日程第4 議案第24号 平成29年度篠山市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)

【主な説明】

上下水道部より補正予算書に基づき説明(経営企画課)

【主な質疑】

(なし)

■日程第5 議案第29号 平成29年度篠山市水道事業会計補正予算(第4号)

【主な説明】

上下水道部より補正予算書に基づき説明(経営企画課・上水道課)

【主な質疑】

小島座長 県水が繋がっていない区域において、今後の見込みはどうか。

上下水道部 現在の県水の割合は市内の57%程度で、日置地区が繋がれば60%程度

となる。東部地区は高い地形のため、県水をつなげられるのは限られる。

足立委員 資本的収入に関し、加入者負担金が半減しているのは、当初の目標が高過ぎたのか。

上下水道部 加入者負担金は過去の実績を踏まえ当初予算に計上しているが、例年より多く見込んでいたため、当初予算と開きが出た。

足立委員 水道事業収益に関し、水道料金は今後値上げせず現状のままいけるのか。

上下水道部 現状のままいけると見込んでいる。平成 28 年度決算においても一定の利益が出ており、今後もマイナスにならずにいけると考えている。

足立委員 厳しい冷え込みで宅内配管が破裂した場合水道料金に跳ね返るが、大きなトラブルはないか。

上下水道部 大きな問題は発生していない。水道管が破裂しても減免申請すれば半額は返金することになる。

休憩 12:05～13:00

■現地踏査 13:00
(大正ロマン館)

■日程第1 議案第21号 平成29年度篠山市一般会計補正予算(第12号)

【主な説明】

まちづくり部より補正予算書に基づき説明(地域整備課)

【主な質疑】

足立委員 道路維持管理費に関し、台風災害の影響で一部路線の修繕が平成30年度当初予算に再計上ということであるが、それ以外の箇所についてはおおよそいつ頃完成予定か。

まちづくり部 資料の箇所は、完成したところもあれば、今年3月に入札を執行し、契約繰り越しを予定する箇所もあるため、おおよそ6月末の完成を予定している。

小島座長 放置空き家対策事業に関する進捗状況は。

まちづくり部 老朽危険空き家除却工事については、福住地内及び後川新田地内における略式代執行が実施中であり、近日中に完了する見込みである。川原地内における跡地活用するための除却工事については、契約を締結したところであり、3月26日までの工期中に完了する見込みである。

小島座長 都市施設管理費において整備するJR篠山口駅に関する事業について

は、今年度を実施するものの他に予定する事業はあるか。

まちづくり部 今年度において、鉄骨柱の劣化調査を行い補修工事の内容が決定したので、平成30年度において、補修等の工事を実施する予定である。また、自転車駐車場については、あらたに一時駐輪施設を増設するためのスペースがないことから、一時駐輪施設を整備する予定はない。定期駐輪施設については、設備が古くなり不具合が発生することがあることから、更新等の必要性について、検討したいと考える。

小島座長 景観まちづくり刷新モデル事業における地域整備課が所管する事業については、今年度は今回の補正予算で完了する見込みか。

まちづくり部 地域整備課が所管する景観まちづくり刷新モデル事業については、駐車場、公園及び道路の美装化を計上している。駐車場については、芦森工業の進入路を整備する計画があり、その調整に不測の日数を要したことから、繰越により実施する。城跡公園については、関係団体等との調整を継続しており、同じく繰越によって実施する。道路の美装化については、3路線を計画しているが、工事期間中の地元への影響を考慮し、繰越したうえで、ゴールデンウィーク明けからデカンショ祭りまでの間に実施したいと考えている。

【主な説明】

まちづくり部より補正予算書に基づき説明(地域計画課)

【主な質疑】

國里副座長 歳入に関し、ハートピア北条団地は、購入の申し込みがあれば今後も販売していくスタンスか。

まちづくり部 今も販売は継続している。現在、1件問い合わせがあり、他に2区画ほしいという人もある。今後も引き続き販売していくスタンスに変わりなく、特に隣接に家屋が建築されている2区画を最優先に斡旋し、山裾の3区画と合わせて5区画を完売させたい。ただし、山裾の3区画の南側の土地は三角の不正形な区画であり、面積的には1戸の家が建つものの、間取りも限られてくる。現在、この土地と隣の土地の2区画を合わせて買いたいとの相談もあるが、要綱上1区画の購入で話をした。まずは5区画で販売していきたいと考えており、平成30年度の当初予算にも歳入として計上している。

小島座長 住宅一般事務費に関し、耐震改修の現状はどうか。どのような支援をしているのか。

まちづくり部 今年度は工事をする前の耐震計画を作る上での2/3または上限20万円の補助を4件。内3件は今月末で完了の予定である。耐震改修工事は300万円以上の事業に対して上限100万円を補助している。現在3件申し込みがあり、2件が完了、1件が施工中である。申し込みはなかったが、簡易耐震改修工事も50万円の補助事業である。これらについては、国、県の補助金で事業を実施している。また、昭和56年5月以前の建物について、現況を調査して評定点で診断する簡易耐震診断も実施している。木造住宅を検査した場合30,900円かかるが、これについても国、県、市の補助で行っている。本年度は木造20件、非木造1件である。補助事業は1月末で締め切ったが、来年度以降も国県の補助はある予定なので、市としても続けていきたいと考えている。

小島座長 老朽化している家屋に資金を投入していく考えを市民はもっているのか。

まちづくり部 来年度の改修予定として、現在2~3件の問い合わせがある。住宅改修と兼ねて2,000万円程度のお金をかけてされる方もあるし、耐震補強のみをされる方もある。

小島座長 物件を購入してリフォームする場合、それらは耐震補強を要するものか。

まちづくり部 法律的には基準はないが、耐震診断を受けてから買いたいと希望する人もあり、前のオーナーに耐震診断を受けてもらってから購入するというケースはある。

小島座長 景観まちづくり刷新モデル事業の無電柱化について、土地問題等課題はないか。また、進捗についてはどうか。

まちづくり部 進捗としては、今年度は電線管理者や地元との合意、整備工法の確定、これらを並行して進めている。通常なら地元合意を得てからのスタートであるが、同事業は3年間で完成させなければならない。地元合意に向けては、河原町では委員会を立ち上げ、これまで5回の委員会を開いて合意に向けて取り組んでいる。また、大手線についても今週に役員への説明会を予定している。工事実施においては、イベントがかなりあるので工事をいかに進めていくかが課題と考えており、イベント実施調査も行っている。できる限り通行に支障のないよう実施すべきと考えている。

小島座長 現時点では、まだ河原町の住民へ説明はしていないのか。

まちづくり部 昨年5月に上、下河原町より、自治会長を始めとする8名の方を選出いただき、計16名による委員会を立ち上げ説明してきており、これらの結果は、随時地区住民にフィードバックされていると考えている。先般は試掘調査を実施し、関係する沿道の方に説明も行ったが、工事を始めれば色々

と課題が出てくるかもしれない。

大上委員 場合によっては所有者の費用負担は発生するのか。

まちづくり部 現況に戻るのであれば費用負担は発生しないが、各家の都合でメーターを動かす場合などは費用負担が発生する。通常今あるところに電線を動かすのであれば費用負担は発生しない。

■議員協議

足立委員 大正ロマン館の整備に関し、トイレの数が減ることには違和感がある。電線が地中化され、大正ロマン館の中庭をくつろぎの拠点とするなら、大正ロマン館の自転車置き場にトイレ、授乳室、倉庫をセットで新しく建てれば、現在のトイレに加え増えることになりよいのではないかと。

小島座長 農都創造部長に再質問をすべきか。

足立委員 補正予算の内容のことであり、変更は可能ではないか。

小島座長 補正予算の金額はそのままに、整備の仕方を考えてみてはどうか。

足立委員 授乳室は別に整備すべきで、トイレの数が減ることも承服しかねる。

前田委員 空きスペースの活用を考えれば、トイレの数を減らさなくてもよいのではないかと。計画では、トイレの中に授乳室があるようで、違和感がある。

小島座長 農都創造部長に来てもらい、再質問をしたいと思うので、一旦休憩する。

■確認質問 14 : 55

小島座長 農都創造部に出席してもらったので、確認質問を行う。

足立委員 授乳室を大正ロマン館に整備するに至った経緯を説明されたい。

農都創造部 昨年6月議会において「赤ちゃんの駅」を設置してはとの一般質問があったことから、観光拠点施設の大正ロマン館に設置しようとしている。

足立委員 景観まちづくり刷新モデル事業がなく、市単独事業で実施する場合も同じ場所に設置しようとするのか。

農都創造部 大正ロマン館内に設置したいとの思いは同じであり、作るなら現在のトイレしかないとの判断で進めている。

足立委員 自転車置き場の将来的な整備計画はできているのか。

農都創造部 篠山の観光の入り口であり、観光客を迎え入れられるような景観にしたい。

足立委員 大手線沿いのトイレは三の丸までない。自転車置き場に授乳室とトイレ、倉庫を建てるべきである。

農都創造部 三の丸駐車場を観光の起点とすれば、トイレは三の丸、歴史村、ロマン館にあると看板で周知していきたい。授乳室は施設内に設置したい。

足立委員 授乳室はレストランからは入れるが、外を歩いている人は入れないことに違和感がある。

農都創造部 観光客は授乳室がどこか尋ねるであろうから、事務員が案内すれば不便ではないと考える。

足立委員 観光協会などで授乳室があるかとの問い合わせが何件程度あるのか。

農都創造部 正確には捉えていないが、件数は低いと考える。

足立委員 なくてもよいものか。

農都創造部 観光施設であれば必要な施設である。

足立委員 補正予算であり、緊急かつ重要性があるのか。

農都創造部 市の財政に鑑み、景観まちづくり刷新モデル事業にのせて補正予算に計上した。

園田委員 違和感があるのは、間取りである。職員の休憩所とトイレの間を通過して授乳しようという雰囲気にはならない。1箇所にトイレも授乳室も物置も設けようとする考え方がよくない。

農都創造部 現場を見てもらい違和感があるとの意見があったので、レイアウトを考え直している。レストランから入ってすぐのところに授乳室を設け、スタッフオンリーの倉庫とは分けたレイアウトにしようとして検討している。

大上委員 授乳室はおもてなしの施設であり、トイレを抱き込んで作ることは、ホスピタリティーの精神にかなっていない。授乳室をきっちりとした個室にするなら理解できるが、トイレを減らすことは逆の方向である。

農都創造部 観光地にふさわしく、授乳室は観光施設の中に設置しているという篠山市の態勢、考え方をもち進めていきたい。

小島座長 授乳室整備にかけられる金額はいくらか。

農都創造部 約270万円である。

小島座長 優先順位は授乳室が一番か。

農都創造部 そうである。

小島座長 授乳室を第一とするなら、待機スペースに設けることがふさわしい。

前田委員 授乳室はレストランから入って手前がよい。トイレはもっと多く取れるのではないか。

農都創造部 授乳室は意見のとおり検討する。トイレは管財契約課やアクトと相談して決めたいので、理解願いたい。

前田委員 スタッフは現在どのような状況か。

農都創造部 レストランの従業員はお客さんが使わない時にトイレを使用している。また、他の従業員も食事の場所がなく、休憩スペースを確保したい。

足立委員 自転車置き場の部分は通れなくする計画か。

農都創造部 中庭へ入るには、東側と西側の自転車置き場からとし、自転車置き場を小径として整備したい。

足立委員 今回有利な景観まちづくり刷新モデル事業の補助金を使わなくても、将来授乳室やトイレと併せて自転車置き場を整備すればよい。補助金が余ったから使うのは無理がある。

農都創造部 自転車置き場の付近は平成 30 年度に一体的に整備し、外からも授乳室に入れるようにと考えている。

足立委員 24 時間使えるようにするほうが親切である。施設内では定休日はどうするという問題もあり、施設内にこだわる必要はない。理解できないので、反対である。

大上委員 授乳室は設けるとしても、倉庫と休憩室は一旦白紙か。

農都創造部 授乳室以外はスタッフオンリーの施設としてレイアウトを考えていく。働く者の休む場は必要であり、確保したい。

(農都創造部退席)

足立委員 授乳室を設けるのはよいが、アクトの従業員のために授乳室を抱き合わせで通そうとしている。別々に考えないといけない。

國里副座長 授乳室は必要なものとするが、計画の場所がふさわしいかと言えば違う。安心して授乳するには施設内がよいが、補助金が余ったから作るというのは納得できない。

園田委員 利用は少ないかもしれないが、何があるかわからないので、授乳室は必要である。レイアウトの変更を待ってもよい。

小島座長 座長報告の中で今後の方向性などを付け加えたい。

議案第 2 1 号 平成 2 9 年度篠山市一般会計補正予算 (第 1 2 号)

議案第 2 3 号 平成 2 9 年度篠山市下水道事業特別会計補正予算 (第 4 号)

議案第 2 4 号 平成 2 9 年度篠山市農業集落排水事業特別会計補正予算 (第 4 号)

議案第 2 8 号 平成 2 9 年度篠山市農業共済事業会計補正予算 (第 4 号)

議案第 2 9 号 平成 2 9 年度篠山市水道事業会計補正予算 (第 4 号)

—市長への確認質問なし—

■意向確認

議案第 2 1 号 平成 2 9 年度篠山市一般会計補正予算 (第 1 2 号)

議案第 2 3 号 平成 2 9 年度篠山市下水道事業特別会計補正予算 (第 4 号)

議案第 2 4 号 平成 2 9 年度篠山市農業集落排水事業特別会計補正予算 (第 4 号)

議案第28号 平成29年度篠山市農業共済事業会計補正予算（第4号）

議案第29号 平成29年度篠山市水道事業会計補正予算（第4号）

—賛成多数—

小島座長 この結果を含め、執行部との質疑、答弁の内容について、座長報告を行いたい。報告については、座長に一任願いたい。

—異議なし—

分科会閉会 15:45